

平成27年度 指定通所介護事業 事業計画

I 現状と取り巻く状況

27年度介護報酬が大幅に改定され、当事業所においても収入減が予想される。「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるようにする」という地域包括ケアシステムの基本的な考え方を実現するため、中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化が求められており、それらの加算の取得で収入増につなげていく必要がある。

さらに、リハビリについても心身機能訓練から生活機能向上訓練まで、総合的に行う機能の強化が求められ、今以上に家族との連携が求められる。

II 基本方針

1. 在宅生活継続支援を家族とともに行う
2. 利用者主体のケアの実施

III サービス目標

1. 個別ケアの充実
 - ・選択趣味活動の提供（作業療法士用アンケートの活用）
 - ・家族との連携の充実（送迎・連絡ノート・アルバム・カンファレンス）
 - ・認知症の方に適したケアの充実（少人数、同じ職員でのケア）
 - ・他機関との連携の強化と担当者会議等の充実
2. 機能訓練の充実を図る
 - ・在宅生活に密着した個別リハビリの実施（必ず自宅訪問し確認）
 - ・自宅で出来る運動の指導（楽しみながら行える）
3. 利用者、家族との連携を図る
 - ・家族の会の実施（地域に出向いての実施）
 - ・ケアマネジャーとの連携

IV 能力開発目標

1. 職員研修会の実施（年6回以上）
2. 情報交換会の定期的実施（4か月に1回必要時）事前に文章配布
3. 外部レクリエーション研修参加（年9回）

V 地域目標

1. 町内の老人クラブに出向き出前レクリエーション・介護教室等を行う

2. 地域交流会への参加（地域交流会・三朝を何とかしよう会）

VI 業務目標

1. 収入月額 720万円以上を目標とする
2. 業務の見直しを行う
 - ・記録物の見直しを行う
 - ・整理整頓を行う
3. 自動車の接触事故をなくす
 - ・送迎方法の統一
 - ・定期的な報告、確認（夕方のミーティングにて行う）
4. 経費削減
 - ・残業を減らす
 - ・消耗品の節約